

令和6年度 鳥取沿岸土砂管理連絡調整会議（東部地区） 議事要旨

日 時：令和6年12月20日（金） 14時～15時55分

場 所：鳥取県東部庁舎5階 講堂

1 議事

（1）サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出と今後の対応方針（鳥取県河川課）

○各海岸のサンドリサイクル実績および短長期の汀線変化傾向についての考察が報告された。

<主な意見>

○（鳥取大学 黒岩教授）

- ・将来的な気候変動を考えると、どの程度の擾乱でどの程度土砂が堆積したのかといったデータの整理、蓄積が重要である。
- ・海岸の中でも砂浜が必要な箇所と防護面を割っていても砂浜が要らない箇所（利用もなく護岸も健全で保全対象がない箇所）もある。経年的な浜幅の傾向を整理し、背後の状況と一緒に確認することで、養浜が必要な箇所/不要な箇所の検討・整理を行う必要がある。来年度はそういった視点も加味して資料整理を行ってほしい。

○（鳥取県河川課）

海岸保全基本計画の改訂を予定しており、来年は沿岸市町村を交えた委員会を設立する予定である。その中で海岸の優先順位なども検討を行っていききたい。

（2）各管理者からの報告

■千代川河口掘削のサンドリサイクルについて（国土交通省鳥取河川国道事務所）

今年度から実施されている千代川河口掘削及び陸上・海上養浜の実施状況が報告された。また、養浜材は鳥取砂丘海岸の海浜構成材料より少し大きい粒径の土砂を養浜している旨が報告された。

■岩美海岸（陸上地区）のサンドパックについて（鳥取県鳥取県土整備事務所）

令和2年度から浜崖対策として実施されているサンドパックの施工状況が報告された。また、設置完了は概ね令和10年となることや今後の施工はこれまでと異なった2段積みとなることが紹介された。

■岩美海岸（浦富地区）の浜崖状況と今後の予定について（鳥取県鳥取県土整備事務所）

人工リーフ開口部の浜崖発生状況及び令和4年度に完成した人工リーフの効果検証の実施予定の説明がされた。併せて、今後人工リーフ開口部背後の侵食対策も検討されることが報告された。

■海岸保全基本計画の改訂に伴う検討委員会について（鳥取県河川課）

気候変動に伴う海岸保全基本計画の改訂状況及び沿岸市町へ来年度に立ち上げる委員会への参画要請が行われた。特に将来的な潮位上昇に対応するためにはモニタリングを継続して実施し、本会議で情報を関係者が共有することが重要との共有を図った。

■鳥取砂丘コナン空港滑走路端安全区域（RESA）整備工事について（鳥取県河川課）

航空法施行規則の改正によって令和8年度末までに設置が必要となる滑走路端安全区域の設置事業（R6～R8）の概要が報告された。